

教 育 委 員 会 7 月 臨 時 会 議 事 録

会議名 教育委員会 7 月臨時会

開催日 平成29年 7 月28日（金）午前10時00分～午前10時45分

開催場所 議会棟 4 階 第一委員会室

出席者 高須教育長、岩根教育長職務代理者、藤田委員、玉井委員、真野委員

事務局等出席者

有山教育監、野呂教育監、山口教育指導課長、遠藤教育研修センター所長、
酒井明和小学校長、籠本教育指導課係長、中村教育政策総務課係長、河野
（教育政策総務課担当）

○高須教育長

ただ今から、小学校教科書採択のための教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

本日の案件は、議決事項が 1 件でございます。

本日の署名人は、真野委員にお願いいたします。

まず、本日の配付資料について確認をいたします。

はい、山口課長。

○山口課長

本日の配付資料は、教育委員会臨時会の議案書でございます。

以上でございます。

○高須教育長

それでは、議案書 1 ページ、議案第30号、平成30年度使用小学校教科用図書の採択
についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、山口課長。

○山口課長

ただ今御上程いただきました議案第30号、平成30年度使用小学校教科用図書の採択
について、平成30年度使用小学校教科用図書の採択を行いたく、教育委員会の議決を
求めるものでございます。

提案理由といたしましては、平成30年度使用小学校教科用図書の採択のためござ
います。

以上でございます。

○高須教育長

今回は、道徳の教科化に伴う、初めての「特別の教科 道徳」の小学校教科書の採

扱でございます。採択に当たりまして、これまでの教育委員会としての取組を確認いたします。

まず、6月23日に小学校教科用図書の見本本全てについて、担当指導主事と調査研究を行いました。その後、見本本をお預かりし、大阪府の選定資料も参考にしながら、お互いに疑問点や意見を出し合い、勉強してまいりました。

7月には、調査員の報告書も加えて、各教科の内容も勉強してまいりました。

7月21日には、選定委員会からの答申の報告を受け、各委員がそれぞれの考えを深めてまいりました。

このような委員会の協議や、各自の学習をもとに、本日は最終的に1者の教科書を選んでまいります。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

内容について、まだ不明な点は、その都度御質問させていただいてよろしいですか。

○高須教育長

本日は、調査員の長でもある、酒井校長先生にも来ていただいています。必要であれば、事務局、調査員にも質問させていただいて結構です。

それでは、最終的に本市の子供たちに一番適している教科書を採択してまいります。

協議に入る前に、教科書の発行者名を略称で統一させていただきます。

発行者は8者ございます。東京書籍は東書、学校図書は学図、教育出版は教出、光村図書は光村、日本文教出版は日文、光文書院は光文、学研教育みらいは学研、廣済堂あかつきはあかつきと呼称することとします。

それでは、協議してまいります。

選定委員会からの答申では、6つの観点での報告がありましたが、まず答申を受けて、各委員の皆様から御意見ありましたらお願いいたします。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

報告のあった答申をもとに、改めて教科書を開いてみましたが、各者とも考える道徳・議論する道徳への転換に向けて、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されていると感じました。

目標・内容の取扱いにもありますように、東書・光村・日文・光文は、教材の冒頭に、「今から何を学ぶのか」が示されています。

また、教材の末尾には、学習が終わった後の行動につながる問いを設定しています。

学図・教出でも、教材を読む前にどのような価値について学習するのかが分かるように工夫されています。

これらに対し、学研は、教材の冒頭に、あえて学習のねらいを明記しないことで、子供の自由な発想を促そうとするなど、いずれの教科書も充実した内容となつていと感じました。

○高須教育長

道徳の教科化の背景には、いじめの問題や大きく変化する社会に対応する力の育成が求められていますが、その点については、いかがですか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

内容の程度にも報告がありますように、どの教科書も、いじめに関する教材を多数取り扱っており、問題解決的な学習に取り組むことができるような構成になっていると感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野委員。

○真野委員

いじめの問題で言うと、やはり人権の取扱いも大切な視点だと考えます。

その点につきましては、どの発行者も、「生命の尊さ」を重点的に取り扱っており、大差がないように思います。

・日文・あかつきは、命の特集ページが設けられ、考えが深められる配慮がされているように感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

いじめ、生命以外の観点から発言させていただきます。

答申にもありますが、教出・光村では、教材の末尾に、問題を解決するための発問が多く用意されています。

日文は、「学習の手引き」で、児童同士の話合いの様子や、役割演技の様子をイラストなどで例示しています。

光文は、教材中に、様々なキャラクターからの投げかけがあり、子どもの思考を促す工夫をしています。

学研は、「深めよう・つなげよう・やってみよう・広げよう」という4つの観点が提示されており、学習の道筋が分かりやすいと感じました。

○高須教育長

道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて推進していくことが大切ですが、そういった視点ではいかがですか。

はい、真野委員。

○真野委員

組織配列の観点では、各者とも、年間行事との関連を意識し教材を効果的に配列していると感じました。

光村は、1つの学年を4つのテーマに分け、重点化を図っているのが非常に印象的でした。

また、学研・あかつきは、重点テーマを設定して、それに関連した教材を連続して配置しているのが特徴的であると感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

今回、別冊ノートが付いている発行者がありましたが、この辺りはいかがですか。

はい、真野委員。

○真野委員

別冊版としてあるのが、学図・日文・あかつきの3者です。これも答申にあります
が、学図は、「読み物」と「活動」が分かれており、活動を持ち帰ることができるよ
う工夫がなされています。

日文・あかつきは、道徳ノートに保護者記入欄が設けられていることで、家庭との
連携を図ることができるよう配慮されています。

各者とも、道徳ノートの有無にかかわらず、道徳を学習することで、自らの成長を
実感できるような工夫がなされていると感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

補助的・発展的な学習についてですが、答申にもありますように、東書では、学習
したことを日常や郷土とのつながりで関連させることができるような資料が掲載され
ていました。

光村・光文・学研では、道徳の学びを他教科や日常生活につなげるためのヒントが
あり大変配慮されているように感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

私は教出・日文・光文が学校や地域の実態に合わせて選択して取り組むことができ
る補助的な教材を掲載しているのが良いと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

巻末付録を見ると、光村の3年生以上の教科書には、各分野で活躍している人物か
らのメッセージや、より良い対人関係を築くための基本的な内容や取組がまとめられ

ており、国語科の教科書と共通した工夫がなされているように感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

別の視点で発言いたします。

全ての教科書を拝見した中で、私は出典元が気になりました。

学図・教出・光村・日文；光文・学研について、各教材の出典元が、記載されており、発行者独自の作品には、「編集委員会作」と記載されており、教科書として丁寧に作られていると感じました。

○高須教育長

学習指導要領では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが求められています。

今御意見をお聞きしていると、どの教科書も、学習指導要領に沿った充実した内容だとも言えます。

ここまで、各委員の皆様から、各発行者の特徴について、御発言いただきましたが、少し絞って議論を深めていきたいと考えます。

今までの話や選定委員の答申、調査員の報告で、評価の高かった発行者について、議論をしていくのはいかがですか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

今、教育長がおっしゃった進め方で良いと考えます。

先程申しましたが、私は、児童の話し合いの様子を「学習の手引き」で示した日文、岩根教育長職務代理者がおっしゃった国語科との関連で光村、この2者について、議論を深めてはどうかと考えます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野委員。

○真野委員

どの教科書も捨て難いので、悩むところですが、藤田委員がおっしゃった日文と光村の2者は、評価は高かったように考えます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

確かに真野委員がおっしゃったように、どの教科書もそれぞれ良いところがあるのですが、選定委員会からの答申では、光村・日文だけでなく、学研の評価も高かった

ように感じましたが、いかがですか。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

皆様の御意見を伺っていると、私も、光村・日文・学研の評価が高いように感じました。

○高須教育長

今、御意見をお聞きした中では、光村・日文・学研の3者ですが、この3者に絞って議論していくのはいかがですか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしということですので、絞った3者について、更に御意見がありましたら、お願いします。

はい、藤田委員。

○藤田委員

各教科書会社には、挿絵が挿入されていますが、道徳の授業では、挿絵を板書に掲示し、子供たちの思考を促すということもやっております。挿絵等が、子供たちにとって、親しみやすく、使いやすいことも大切だと感じます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

今藤田委員から挿絵の話がありましたが、日常の仕事で私は写真を見る機会が多くありますので、そういった観点から発言いたします。

学研は、挿絵や写真がとても大きく、見やすいので、子供たちが興味を持ちやすいよう工夫がされているように感じます。

日文は、表紙に子供たちの活動的な写真を豊富に扱っており、親しみが感じられました。

光村は、「こころん」と「きらりん」というキャラクターが使われており、国語科の教科書に出てくるものと同じで、児童にとっては大変親しみやすいものではないのかと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

今、写真や挿絵の話が出ましたが、字の大きさや低学年の子供でも扱いやすい教科書の大きさであることも大切だと考えますが、いかがですか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

光村は、高学年で比較的文字の大きさが小さいように感じました。ただ、字体については、国語の教科書と同じ字体が使われており、子供たちにとって親しみのある字のように感じました。他教科の教科書やノートの大きさと比べると、光村が同じサイズのように扱いやすいのではないかと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

今、玉井委員がおっしゃった教科書のサイズについてですが、先日開催した学習会の中でも、学研は、教科書のサイズが大きすぎるのではないかという意見が出ていました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野委員。

○真野委員

別の観点から発言いたします。

道徳が教科になるということは、評価が必要になってくるということですが、子供たちの自由な発想や考えを大切にする中で、先生方が一人一人の良さを伸ばし、適切な評価を行っていくことは、難しいことだと考えます。先生や学級によって、評価に差が出ないことが大切だと考えています。

光村と日文は、書かせることで、記録を残し、評価しやすくなるように工夫されているようですが、実際に子供たちを指導する先生方の立場から考えるといかがですか。

○高須教育長

ほかの委員の皆様方はいかがですか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

元教員として発言させていただきます。

6年生の教科書で比較して見ていただきたいのですが、光村の38ページ、学研の15ページ、日文の道徳のノートの40ページを示して下さい。

○高須教育長

事務局お願いします。

○藤田委員

光村は、まとまりごとに「学びの記録」のページが見開き2ページであり、使い勝手が良いように感じました。

学研は、スケートの羽生結弦選手と荒川静香選手が掲載されており、15ページ左下を見ていただきますと、「得点にならないのに羽生結弦選手がイナバウアーにこだわ

ったのはなぜだと思いますか。」というような自分の考えを書き留めておくスペースが設けられているのでとても良いと感じました。

日文には、最後の40ページ・41ページに道徳ノートが付録しており、「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」というような自分の思いを書くことと、保護者の記入欄も記録できるようになっています。これらは、子供たちの思考を促すこともできるし、記録として残したものを評価することもできますし、また、家庭との連携を図るという意味でも、良いのではないのでしょうか。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野委員。

○真野委員

藤田委員の御意見から、書かせることの良さ、効果が良く分かりました。

今年から、この市独自の道徳ノートを使っていると聞きました。市独自であっても、教科書に付いているものであっても、思いを書かせることは、藤田委員がおっしゃったようにとても良いことだと考えます。そこで実際の調査員の方にお伺いしたいのですが、市独自の道徳ノートの現在の活用方法や子供たちの書きぶりなどの状況を教えてくださいいただけますか。

○高須教育長

酒井校長、その辺りはいかがですか。

○酒井校長

本市の道徳ノートは、比較的自由な使い方ができるような構成になっています。

この道徳ノートは今年から市全体で活用しており、授業の最後には、振り返りを行い、子供たち一人一人の道徳的な変容を記録させています。

また、道徳が教科になるということは、評価を行う必要がありますので、評価にも活用できるよう、各校で研究・取組を進めているところです。

また、家に持ち帰り保護者と連携できるように保護者記入欄も設けています。

○高須教育長

今、酒井校長から話がありましたが、真野委員はいかがですか。

○真野委員

ということは、活用としては日が浅いけれども今後、効果は期待できるということですね。

○高須教育長

酒井校長、いかがですか。

○酒井校長

そのように考えております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

この市の道徳ノートは、かなり自由度の高い記述式のノートだと感じました。

また、保護者記入欄があるのは、学校・家庭・地域が一体となって、取組を進めていくためには有効であり、保護者としても子供と一緒に考える良い機会になると考えます。

また、経験の少ない教員も増えてきている中、日文の道徳ノートのように、ある程度道筋が示されている方が、指導による偏りは少ないようにも感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

少し年齢は離れるのですが、今の大学生を見ていて思うのは、自分の意見を書くこと、他人に意見を書いてもらうことはできるのですが、いざ話し合いとなると消極的になってしまうように感じています。ちょうどLINEやSNS等でのやり取りと似ているなと感じます。今の子供たちには、友達と話し合って、いろいろと考えて自分なりの答えを出していくことが大切ではないかと考えますが、その辺りは、いかがですか。

○高須教育長

冒頭にも申し上げましたが、寝屋川市では、各校で教科化に向けた準備が進んできています。各校で子供たち同士が考え合い議論する道徳を実践するための授業づくりが充実してきております。当然、特別の教科として教えることは、しっかりと教えなくてはいけません、ある程度、授業の工夫ができる方が今までの取組もいきてくるのではないかと考えますが、委員の皆様はいかがですか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

日文は、教材に主題や考えるべきポイント、話のあらすじなどが記載されており一度の読みでは理解しづらい児童にも配慮がなされていると感じました。

また、ベテランの先生方は教育長がおっしゃったように、授業づくりや工夫もなされていると考えますが、岩根委員がおっしゃったように、経験の少ない先生が増えていく現状から考えると、教科書に付いている道徳ノートと一緒に活用することで、一定指導の質がそろえることも期待できます。

逆に、学研は冒頭に示されている主題の部分がシンプルで、市の道徳ノートを使った場合も先生方が工夫できることも、大きい要素だと感じました。

光村は、示されている「主題」と「問いかけ」のバランスが良いように感じます。

悩ましいことではありますが、先生方の工夫できる余地があり、指導の質を保ちながら、市の道徳ノートを活用した指導もしやすいのではないかと考えます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

光村4年生の161ページを示してください。

○高須教育長

事務局お願いします。

○岩根教育長職務代理者

調査員の報告書の中でも組織・配列に記載されていますが、光村は、教材の最後にある「つなげよう」で、道徳の学習を他教科や日常生活へ展開できるように工夫されているのが印象的でした。

委員の皆様はいかがですか。

○高須教育長

ほかの委員の皆様はいかがですか。

はい、真野委員。

○真野委員

確かに学校所見でも、光村は発問や学習の流れが示されていて、指導がしやすいように感じるという意見が多かったように感じます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、岩根教育長職務代理者。

○岩根教育長職務代理者

今までの議論を集約すると、おおむね光村・日文という意見が多く出ていますが、現在までの市の取組を考えると、光村の教科書がより適しているように感じますがいかがですか。

○高須教育長

光村が適しているとの御意見が出ましたが、ほかの委員の皆様はいかがですか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

他社の工夫もいろいろとありますが、私も光村が寝屋川には適しているように感じました。

○高須教育長

ほかの委員の皆様はいかがですか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

私も光村が寝屋川の子供たちに適していると考えます。

○高須教育長

委員の皆様におかれましては、光村との御意見のようです。

それでは、光村に決定したいと考えますが、いかがですか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって「特別の教科 道徳」は、光村図書を採択することに決めます。

ほかに、報告はございませんか。

では、ないようですので、これをもちまして教育委員会臨時会を終了させていただきます。